



ロータリー研修シリーズ

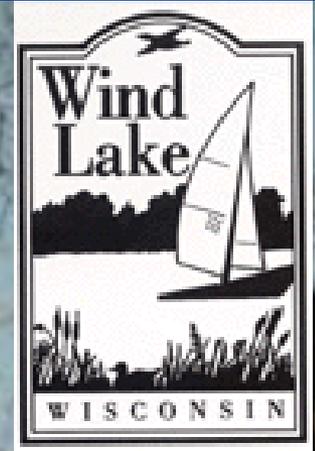
# ロータリー歴史探訪

製作 2680地区 PDG 田中 毅



ポール・パーシ  
ハリス  
Paul P. Harris は  
1864年4月19日

ウィスコンシン州  
ラシーン  
5番街316番地  
にて誕生



ミシガン湖畔  
ウイスコンシン州  
ラシーン





ラシーンの生家



# PAUL P. HARRIS

FOUNDER AND PRESIDENT EMERITUS  
OF ROTARY INTERNATIONAL, WAS  
BORN IN THIS CITY APRIL 19, 1868  
AT 316 FIFTH STREET A SHORT  
DISTANCE NORTHWEST OF THIS CORNER

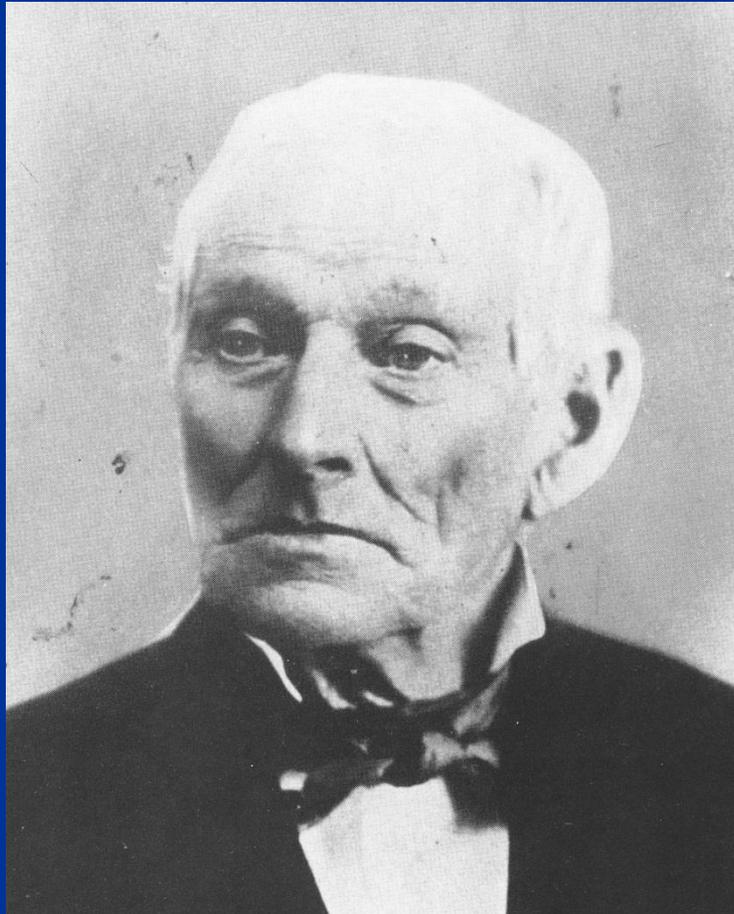
---

RACINE ROTARY CLUB APRIL 23, 1951

# 父方の家系・スコットランド出身

ヘンリー → ハリー → ハリス

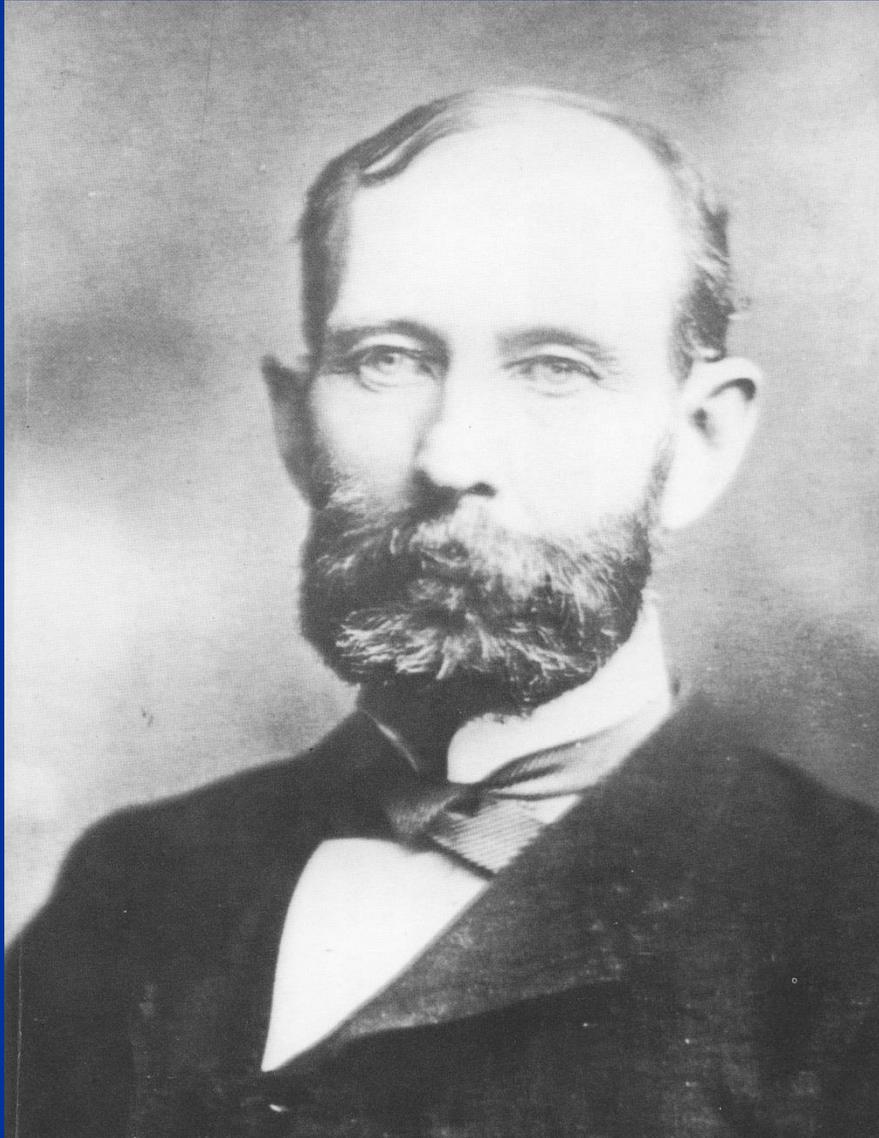
ウォーリングフォードの大規模農園主



祖父 ハワード・ハリス



祖母 パメラ



父親 ジョージ・ハリス

- ラシーンで雑貨屋を営むが、堅実な生活ができない性格
- 文筆活動、発明などの多芸が災いして再三の破産を繰り返す
- その都度一家離散

# 母方の家系・・・アイルランド出身

オブライエン → ブライアン

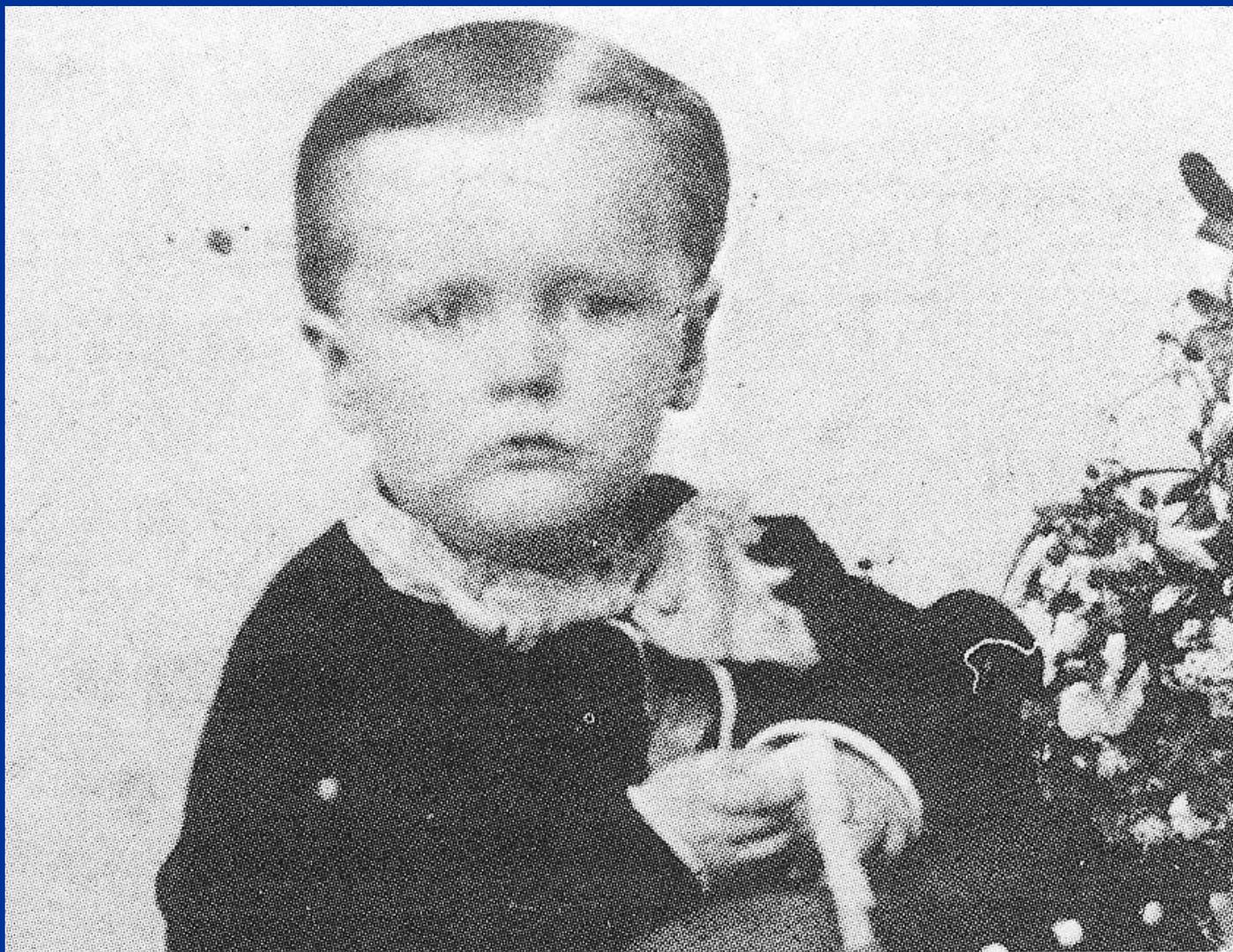
祖父 ヘンリー・ブライアン

- シカゴで弁護士を営む
- 1850年 40名を引き連れて金鉱探索のためカリフォルニアへ行くが失敗
- ラシーンに戻り、第2代市長を務める
- ポールが弁護士になる大きな影響を与える



母 コーネリア

- ヘンリー・ブライアンの娘コーネリアがジョージ・ハリスと結婚
- 浪費家で、家計が苦しくてもメイドを雇い続ける性格
- 一家離散後はピアノ教師で生計を立てる



ポール・パーシー・ハリス 3歳



破産のため、兄  
セシルと共にウ  
オーリング  
フォードの父方  
の祖父母に引き  
とられて、少年  
時代を過ごす

バーモント州 ウオーリングフォード



ポールが降り立った駅舎跡



ポールが育った祖父母の家



ポールが通った赤い煉瓦の小学校は、祖母パ



7歳 1875年



14歳 1882年

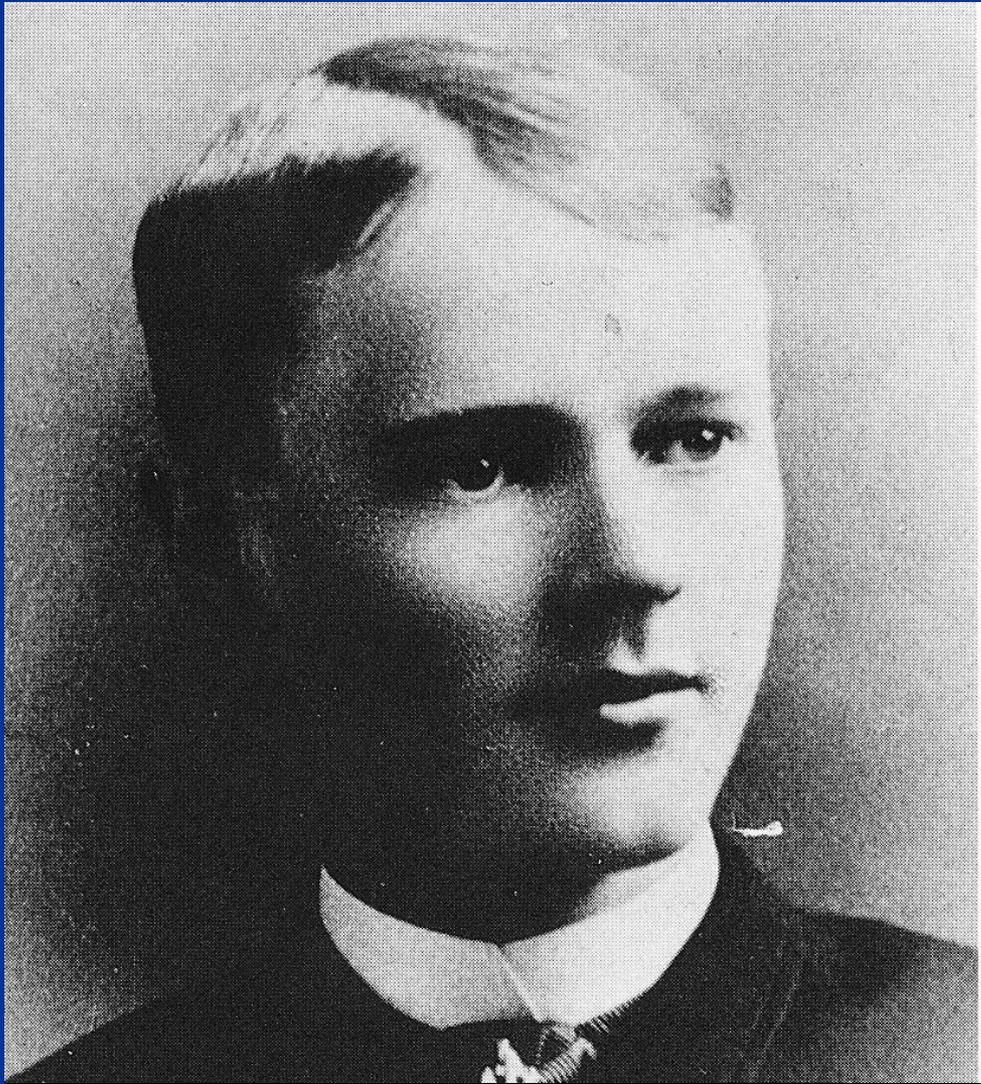


17歳 陸軍士官学校

- ラトランド高校卒業
- ブラックリバー・アカデミー 退学処分
- バーモント・アカデミー(陸軍士官学校) 優秀な成績で卒業



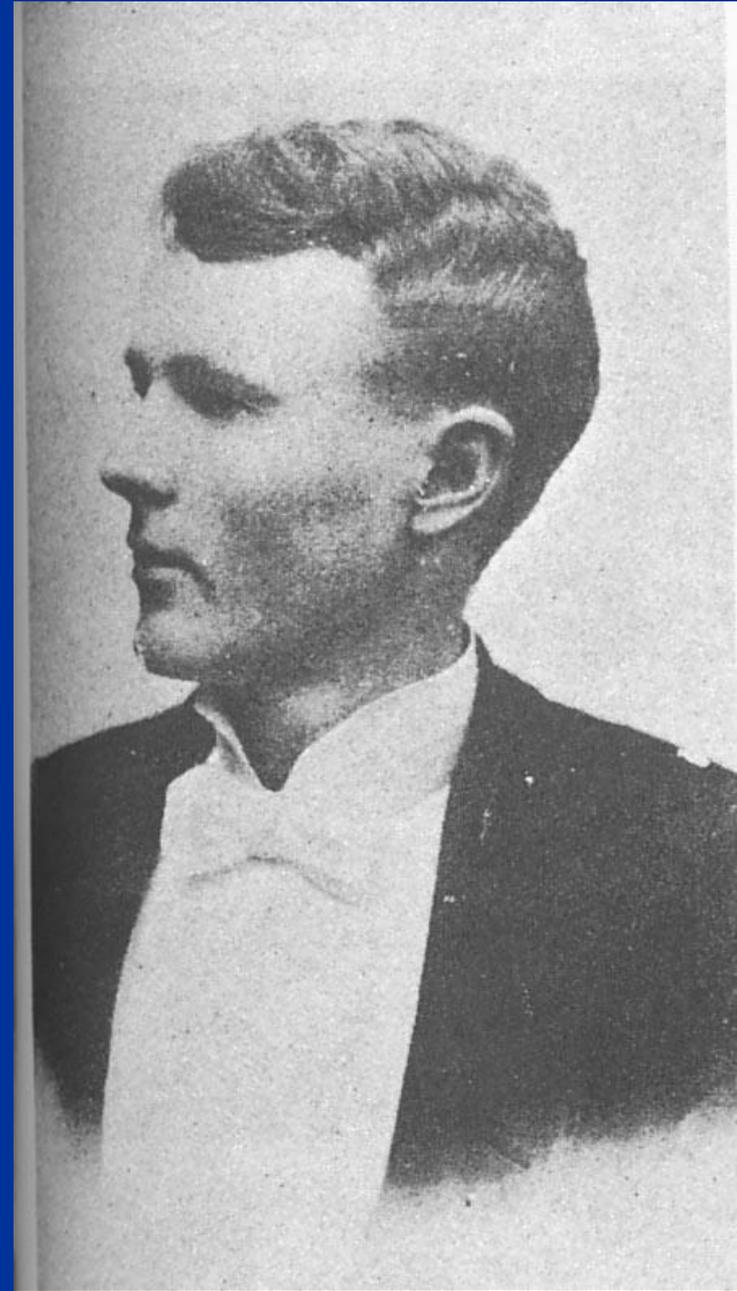
ラグビーをするポール



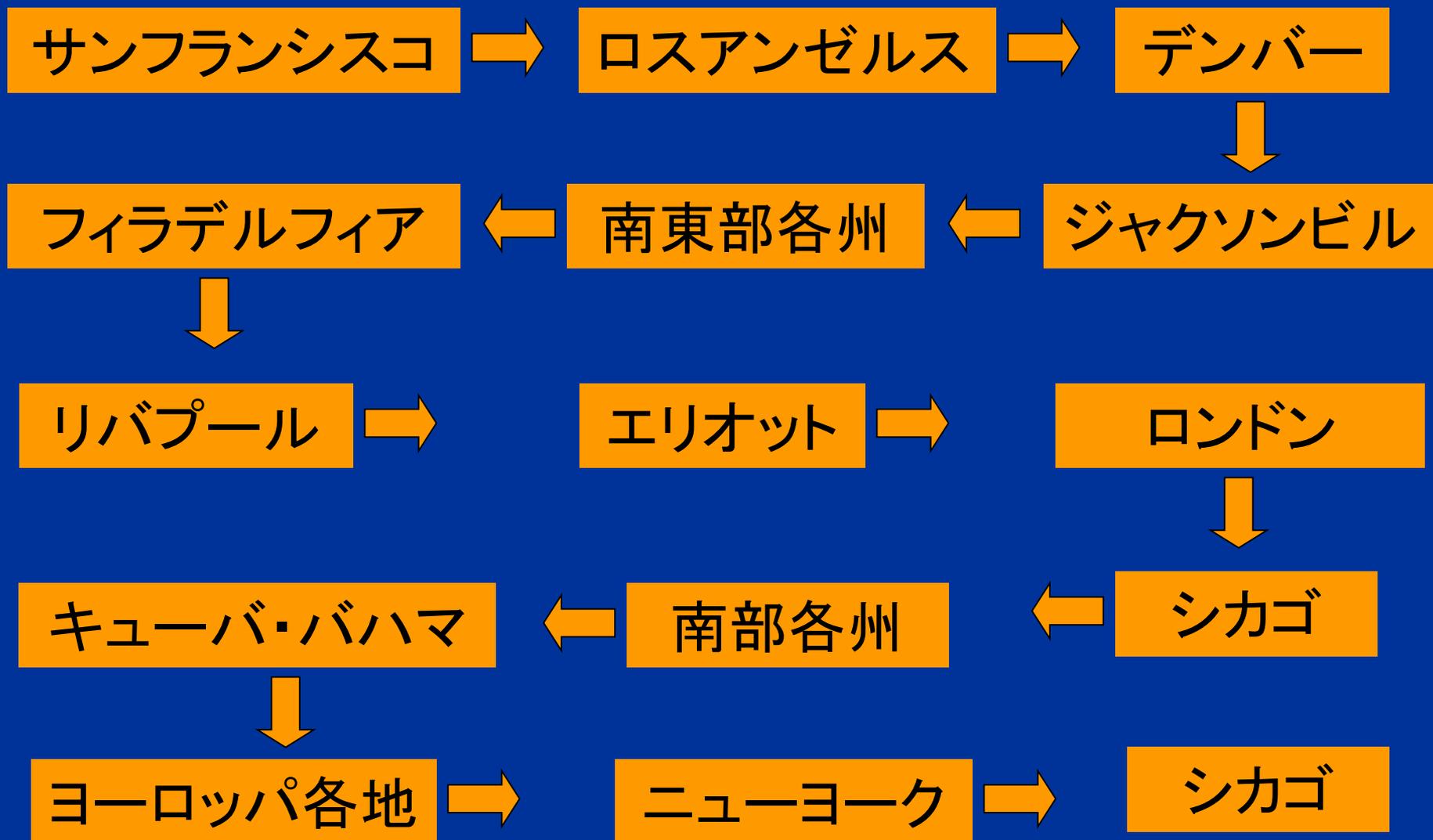
18歳 バーモント大学

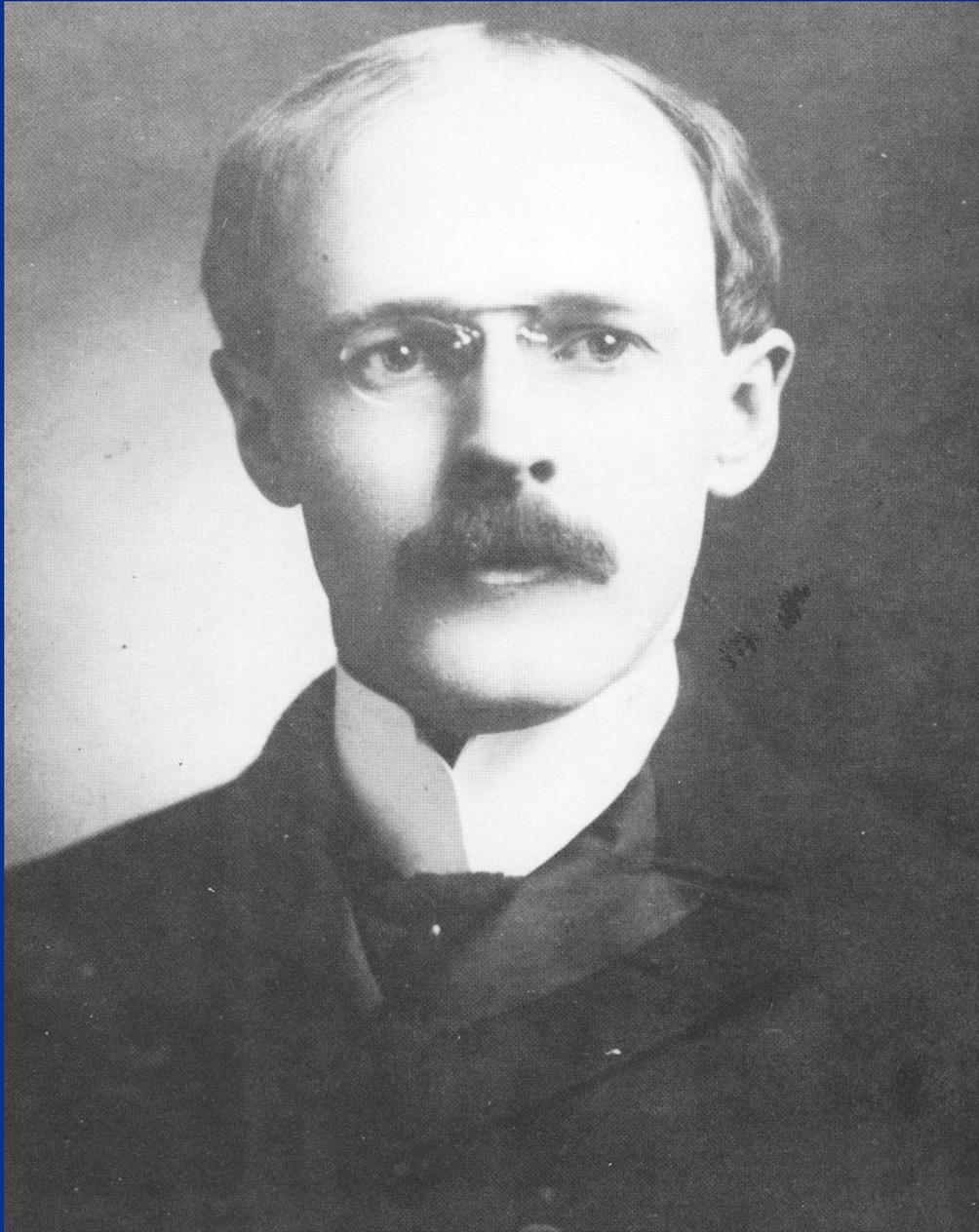
- バーモント大学  
入学
- 暴力事件に関与  
して同校退学処  
分
- プリンストン大学  
入学
- 祖父の死亡に  
よって同校退学

- 大理石会社に給仕として就職
- デモイン市の法律事務所で司法研修
- アイオワ州立大学ローズクールに入学
- 同校卒業
- 弁護士試験合格1891年23歳



# 5年間の愚行

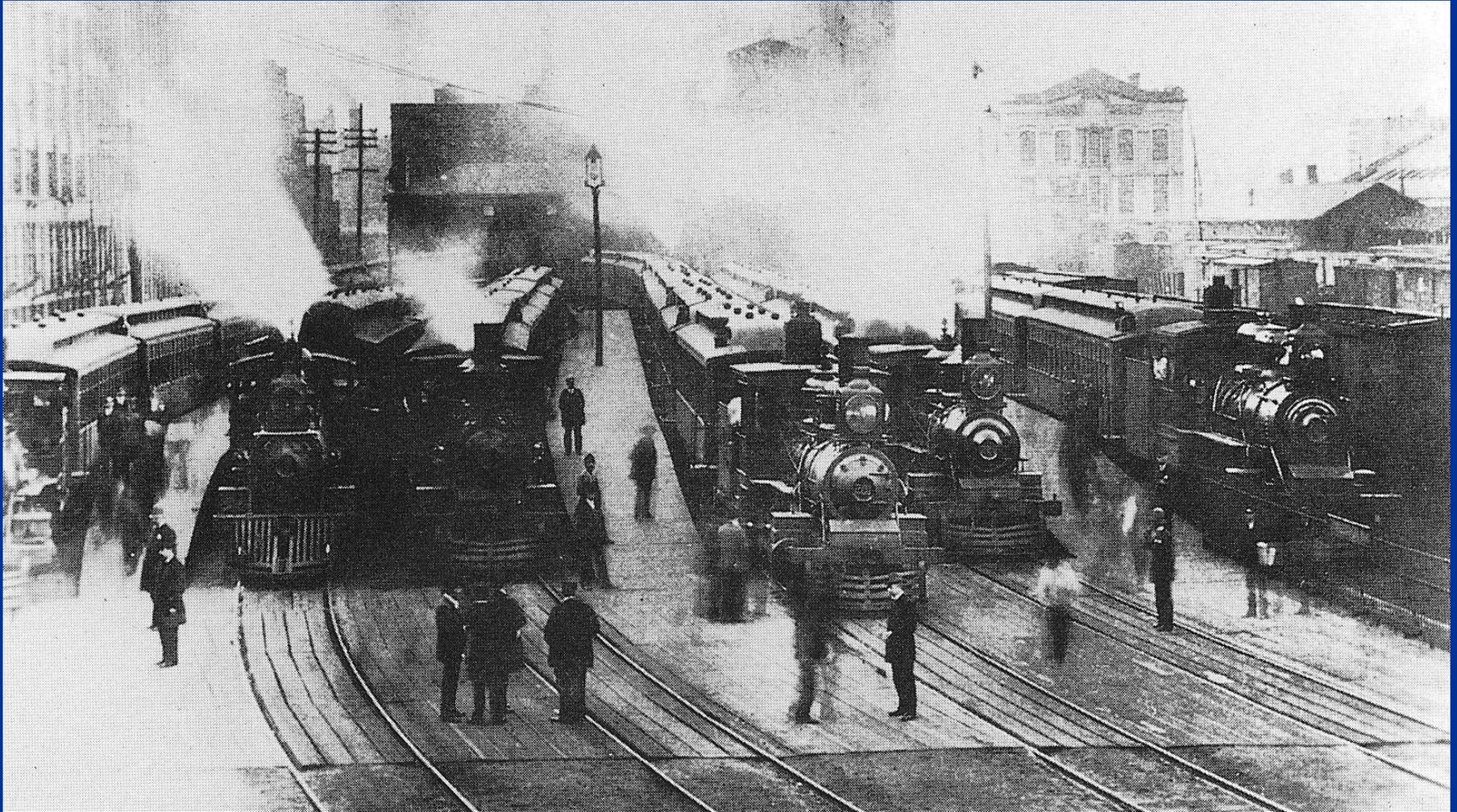




- 1896年2月27日  
シカゴ、ループ地  
区で弁護士事務  
所を開設
- 1900年夏  
地域住民と親しく  
付き合う友人の  
姿から、ロータ  
リー創立のヒント  
を得る

# ロータリー設立の動機

成功を夢見た人たちが集まった、無法と腐敗の街



# ロータリー設立の動機



すべての人はライバル

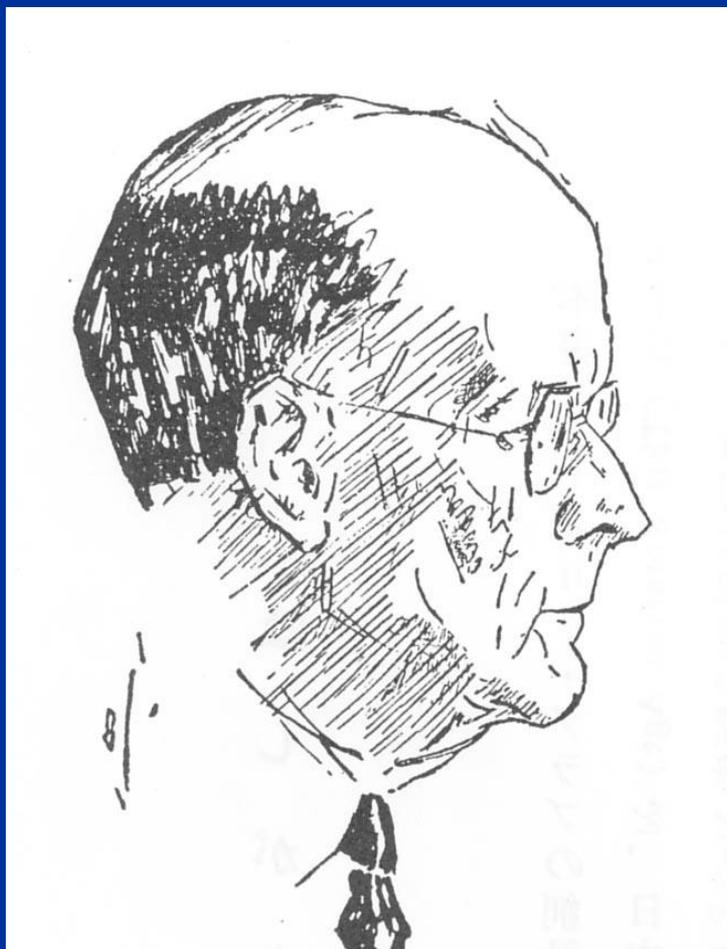
孤独感と疎外感に加えて、過酷な自由競争に敗北するかもしれないという恐怖感が付きまとい

# ロータリーの創立

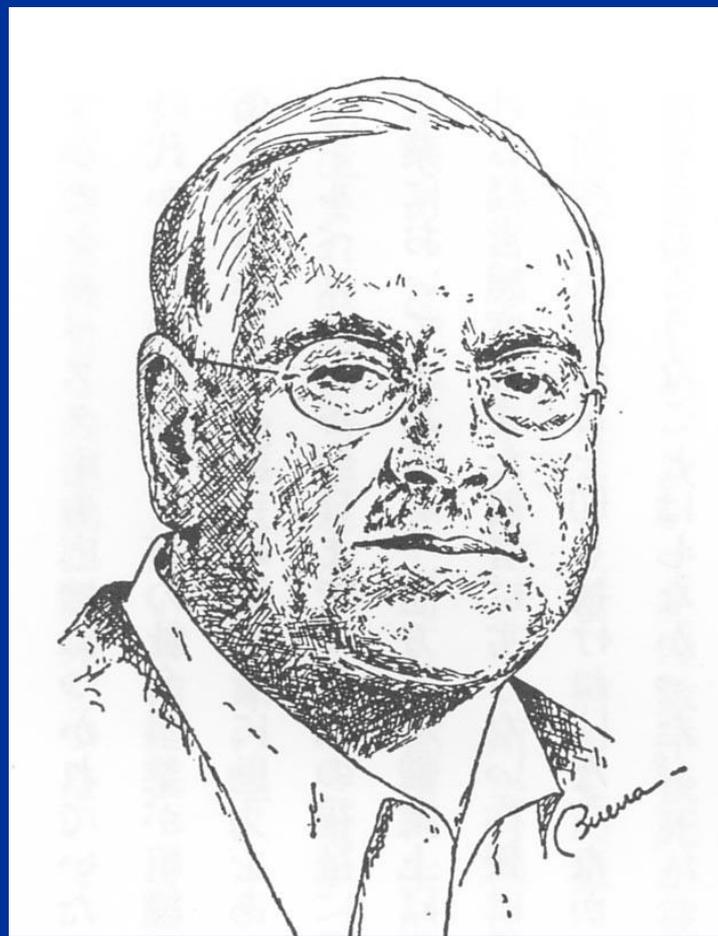
1905年2月23日は、小雪まじりの強い西



著名人で賑わうマダム・ガリの店で



ポール・ハリス



シルベスター・シール

夕食をとったポールとシルベスターは



ユニティビル711号室にある



ガスターバス・ロアの事務所に向かいま



シルベスター  
シール

ポール  
ハリス

ガスターバス  
ロア

ハイラム  
ショーレー



# 初期のロータリー思考



殺伐とした大都会の中でお互いに胸襟を開いて、どんなことでも語り合える友人をつくる

## シカゴ・クラブ定款

1. 会員の事業の利益の増大
2. 社交クラブに付随する親睦



Back Scratching の世界



## CHICAGO

President, W. S. MILLER,  
Vice-President Bush & Gerts Piano Co.,  
Office Bush Temple of Music.  
Telephone North 1610  
Residence 1516 Fargo Ave.  
Telephone Rogers Park 3554

Vice-President, DONALD M. CARTER,  
Patent Attorney,  
Office 140 S. Dearborn St., Marquette Bldg.,  
Room 1410.  
Telephone Central 1651  
Residence 1361 E. 50th St.  
Telephone Drexel 9272

Treasurer, RUFUS F. CHAPIN,  
Secy. Union Trust Company,  
Office 7 S. Dearborn St., Tribune Bldg.  
Telephone Central 529  
Residence 1043 Rush St.  
Telephone North 3855

Secretary, HORACE W. DAVISON,  
Office 910 First National Bank Bldg. (Cor.  
Dearborn and Monroe Sts.)  
Telephone Randolph 608.  
Residence 6402 Minerva Ave.  
Telephone Midway 4997

A suite of offices is maintained by the Club for its purposes and the accommodation of its members at 910 First National Bank Bldg. in the center of "the loop."

Club dinner meetings are held at 6:30 P. M. on the second and fourth Thursdays of each month, except July and August. Luncheons of Ways and Means Committee (for all members) are held on Tuesdays 12:30 to 1:30 P. M., at Vogelsang's Restaurant, 175 W. Madison St. Luncheons of Business Promotion Committee (for all members) are held on Fridays 12:30 to 1:30 P. M. at Vogelsang's Restaurant, 175 W. Madison St. Visiting Rotarians always welcome without any advance notice.

Members of CHICAGO Rotary Club  
whose Lines may be of Special In-  
terest to the Traveler and  
all Rotarians:

### Architect

R. C. Fletcher, 179 West Washington St.  
Phone Main 4710.

### Custom Boot Maker

M. F. McNiff, Republic Bldg., 209 So. State  
St. Phone Harrison 5024.

### Diamonds

Berg & Co., 516 Michigan Ave., Elmer A.  
Rich, Partner. Phone Harrison 2024.

### Dentist

Dr. Will R. Neff, 1112 Republic Bldg., State  
and Adams Sts. Phone, Harrison 1820.

### Florist and Decorator

Chas. Schneider, 32 W. Washington St.,  
bank floor. Phone, Randolph 3348. Resi-  
dence, 4410 Lake Ave. Phone, Kenwood  
575.

### Haberdasher

Washington Shirt Co., Fred L. Rossbach,  
President, Dearborn and Jackson Blvd.,  
Phone Harrison 3914; Dearborn and Wash-  
ington Sts., Phone Central 5311; 113 South  
La Salle St., Phone Randolph 2382.

### Hats

Ames Hat Co., 35 West Madison St., Henry  
Paul, Vice-President. Phone Central 6859.

# 社会奉仕概念の導入

ドナルド・カーター

利己的な組織には持続性がない。ロータリークラブとして生き残り、発展することを望むならば、我々の存在を正当化するために何ごとかをしなければならない。

物質的  
相互扶助



社会に対する  
奉仕活動

# 1907年 シカゴ・クラブ会長就任

## ロータリーの運営方針の転換



- ★ シカゴ・クラブの会員増強
- ★ 他都市へのロータリークラブ設立
- ★ 地域社会への奉仕活動の展開

# 公衆便所設置運動



単なる寄付行為でないことが特徴

# アーサー F. シェルドン



ミシガン大学経営学部  
修士課程で販売学専攻

1902年 ビジネス・ス  
クール開校

1908年 シカゴ・クラブ  
入会 情報拡大委員長

1910年 全米ロータリー  
クラブ連合会 Business  
Method 委員会委員長



チェスレー・ペリー

- 1908年 シカゴ・クラブ入会
- 全米ロータリークラブ連合会設立に当たって事務総長に就任
- 32年間在職して今日のロータリーの基礎を作り上げる

# ロータリー最初の危機

1907年から1910年

親睦・互恵派

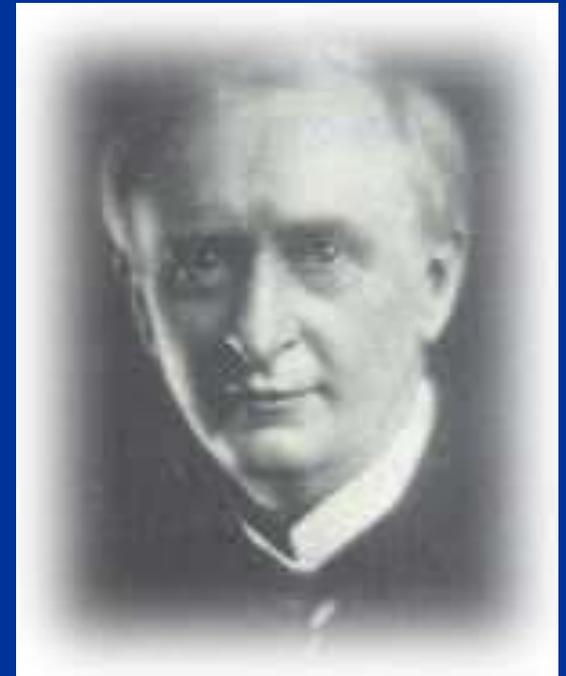
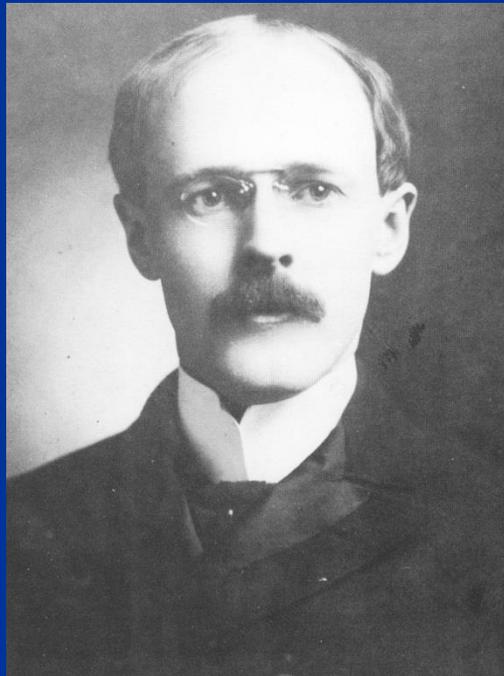
ハリー・ラグルス

シカゴクラブの多数派

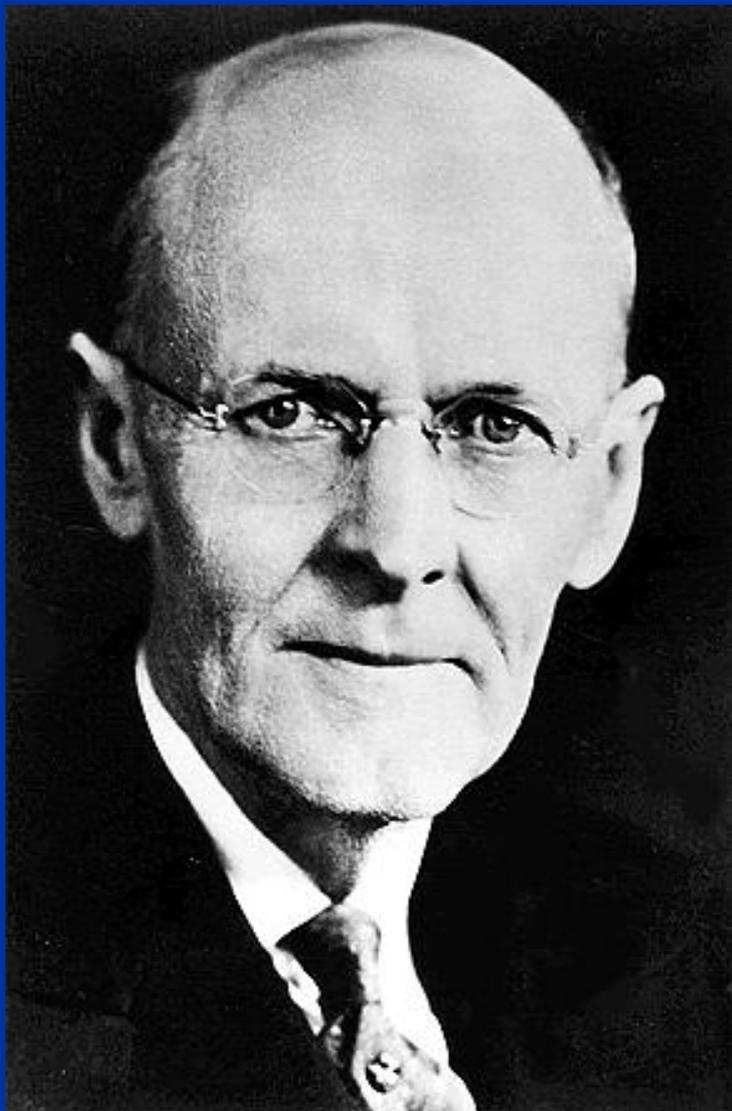
奉仕・拡大派

ポール・ハリス

アーサー・シェルドン



# 全米ロータリークラブ連合会設立



- 親睦派と奉仕・拡大派の論争
- 1910年  
全米ロータリークラブ連合会設立によって危機を回避
- ポール・ハリスが会長  
チェス・ペリーが幹事に就任



- 1910年7月  
エジンバラ出身の  
ジーン・トムソンと  
結婚
- シカゴ市郊外のロ  
ングウッド・ドライ  
ブに新居を建て、  
カムリー・バンクと  
名づける



カムリー・バンク

# ロータリークラブ連合会第一回大会

1910年8月15-17日 於 シカゴ

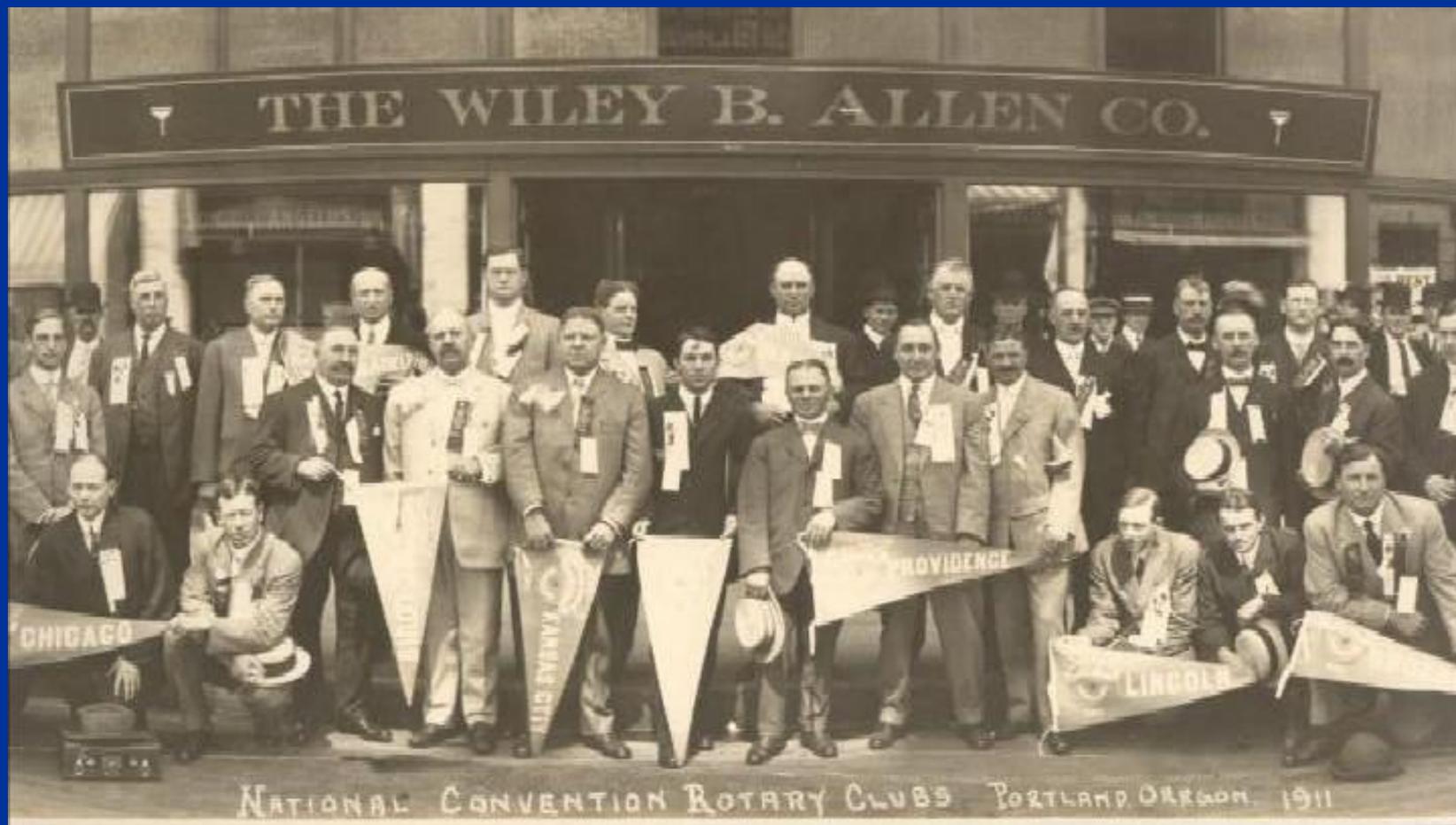
アーサー F. シェルドンのスピーチ

He profits most who serves his fellows best

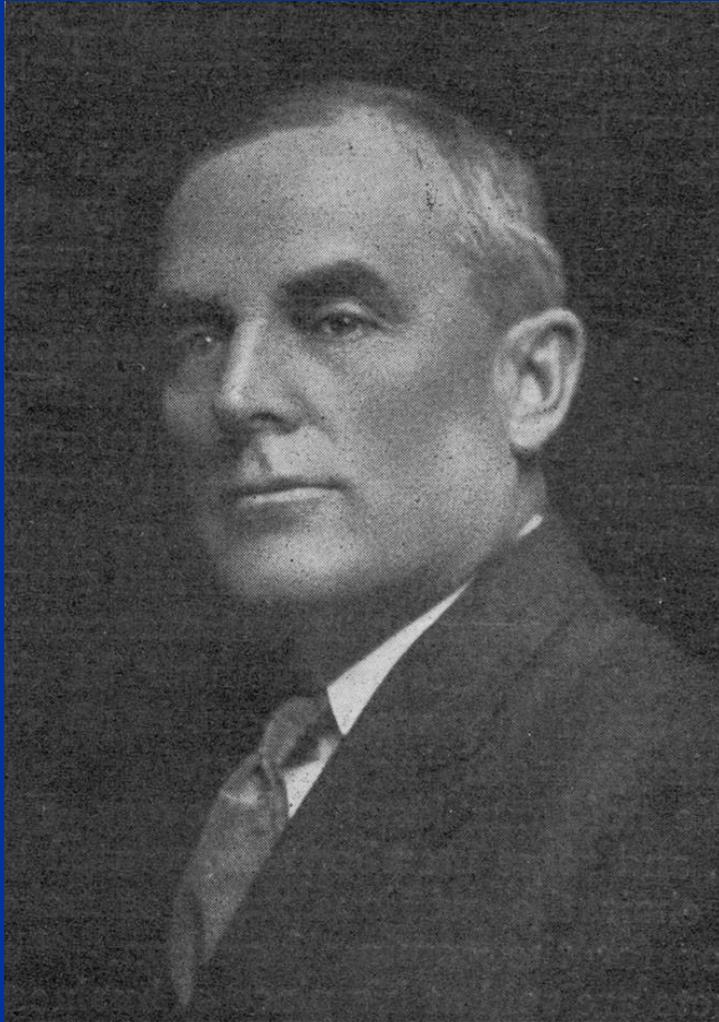


# ロータリークラブ連合会第二回大会

1911年8月21-23日 於 ポートランド



# Service, not self



B. Frank Collins

大会2日目  
コロンビア川クルージング  
の船上演説

自分の利益のためにロー  
タリーに入るのは間違い  
ロータリアン同士の取引  
を一般の人に拡大する

大会採択の記録なし

He profits most who serves best



Arthur F. Sheldon

## 大会3日目

20世紀の実利主義の特徴は協力することである。他人に利益をもたらすことが、正しい経営である。販売とは、他人に対してサービスすることである。

大会宣言の結語に採択

## Service above self

後日、**Service, not self** の解釈が、「自己の存在を否定して他人に奉仕すること」と間違っ  
て解釈される

1916年から1921年の間に **Service, not self**  
が **Service above self** に変更される

**Service above self** の真意、提唱者は不明

1950年デトロイト大会で He profits most  
who serves best と共にロータリー・モットー  
として採択 (決議50-11)

# リピーターを得る具体的経営方法

- 適正な価格
- 経営者・従業員の接客態度
- 品揃え
- 公正な広告
- 取扱い商品に対する知識
- アフター・サービス

サービス

高い職業倫理

# 事業における人間関係学

- 自分が事業上得た利益は、自分ひとりのものではない。
- 自らの事業は、従業員、取引業者、顧客、同業者によって支えられている。
- これらの人々と、利益を適正に配分すれば、自らの事業は継続し発展することを、自らの事業所で実証する。
- 自らそれを実証することによって、業界全体の職業倫理を向上させる。

He profits most who serves best

# 職業倫理訓の策定

ロバート・ハント

J.R.パーキンス

- 1913年 バッファロー大会  
事業上適用すべき実践例の収集
- 1915年 サンフランシスコ大会  
「職業人のためのロータリー道德律」として、  
正式承認
- 1916年 「ロータリー通解」に収録、配布

# 職業倫理訓の具体的内容

1. 自らの職業に誇りを持ち、職業を通じて社会に奉仕すること
2. 自己改善によって実力を培い、He profits most who serves bestの成果を実証すること
3. 経営者が自分の事業の成功を夢見るのは当然のことである。しかし、最高の正義と道徳に基づかない成功は望んではならないこと

4.商行為による対価の授受は、関係者全員に利益をもたらさなければならないこと

5.自らの職業の倫理基準を高め、そのことが最高の利益をもたらすものであることを、同業者に実証すること

6.自分が扱った商品には、最後まで責任を負うこと

7.ロータリアンの最も大きい財産は友人であり、友情を通じて得られたものに大きな価値があることを理解すること。

8.利益のために友人の信頼関係を利用してはならない

9.道徳的に疑義のあるような条件や機会を利用した取引をしてはならない

10. ロータリアンだからという理由で、特別な配慮を払ったり、期待してはならない。

11.「すべて人にせられんと思うことは、他人にもその通りにせよ」という黄金律の普遍性を信じ、地球上の資源をシェアしなければならない

# 職業倫理訓の適用



ガイ・ガンデカー

- 職業倫理訓配布  
「ロータリー通解」
- レストラン協会の道徳律  
制定

接客態度

品質管理

広告宣伝

取引関係

同業者対策

行政との関係

# アーチ・クラフ基金創立

- 1917年 アーチ・クラフの提唱によって、国際理解と親善のための基金創立
- ロータリー財団の前身となる
- 最初の寄付金  
カンサスシティ大会余剰金 26ドル50セント



# 国際奉仕理念の導入

- 1921年 エジンバラ大会で、国際奉仕理念の提唱
- 1922年 ロスアンゼルス大会で、綱領第6項として正式採択

奉仕の理想に結ばれた、事業と専門職種に携わる人の世界的親交によって  
**国際間の理解と親善と平和**を推進すること。

# 身体障害児対策

- ・ 1913年、シラキューズ・クラブによるリハビリテーション実施
- ・ 1915年、トレド・クラブによる肢体不自由児への教育事業
- ・ エリリア・クラブによるオハイオ身体障害児協会の設立
- ・ 1939年、エリリア・クラブのエドガー・アレンによる国際身体障害児協会設立

# 奉仕理念をめぐる論争

利益の  
適正配分

職業倫理  
高揚

自己改善

理念提唱

個人奉仕

人道主義  
的活動

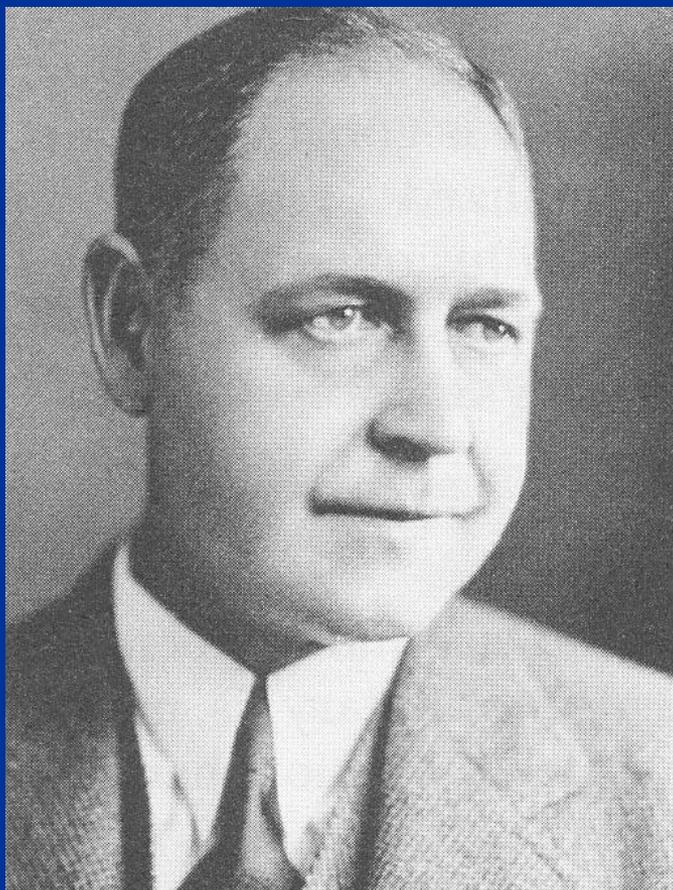
実践活動

金銭的  
奉仕

団体奉仕

# ロータリー第二の危機

1915-16年から1923年



ウイル・メーニア

職業奉仕と社会奉仕の  
理念の衝突

決議23-34によってロータ  
リー分裂の危機を回避

ウイル・メーニア Jr  
ナッシュビル

RC ポール・ウエスト  
バーグ シカゴRC

# 決議23-34

社会奉仕だけではなく  
ロータリーの綱領に基づく  
すべての活動に適用すべき  
ロータリーの奉仕理念

# 決議23-34 第1条

ロータリーは人生哲学

利己的な欲求



他人への奉仕

相反する二つの心の葛藤を調和

奉仕哲学

Service Above Self

実践理論の原理

He Profits Most Who Serves Best

# 決議23-34 第2条

## ロータリークラブの役割

- ・ 奉仕の理論を団体で学ぶこと
- ・ 奉仕の実践例を団体で示すこと
- ・ 奉仕活動の実践を個人で行うこと
- ・ ロータリーの奉仕理念と実践を一般の人に受け入れてもらうこと

# 決議23-34 第3条

## RIの役割

- ・ 奉仕理念の育成と普及
- ・ ロータリークラブの拡大、援助、管理
- ・ 情報の相互伝達
- ・ クラブ運営の標準化、社会奉仕活動の標準化

# 決議23-34 第4条

## 実践哲学

奉仕するものは行動しなければならない

### 団体奉仕活動の条件

- ・ 毎年一つの新しいプログラム
- ・ 単年度で終了するもの
- ・ 地域社会が必要とするもの
- ・ クラブ全員の協力が得られるもの

# 決議23-34 第5条

## クラブ自治権

- ・ クラブは地域社会に適した奉仕活動を選ぶ絶対的権限をもつ
- ・ クラブはロータリーの綱領に違反したり、クラブ存続を危険にする奉仕活動を行ってはならない
- ・ RIはクラブが行っている奉仕活動を禁じたり、命令することはできない

# 決議23-34 第6条

## 社会奉仕活動の指針

- ・ 他機関との重複活動の禁止
- ・ 大規模な奉仕活動は、他に適切な組織がない場合のみに限ること
- ・ 宣伝目的の活動禁止
- ・ 奉仕活動の実践は個人奉仕を原則とする。クラブが行う団体奉仕活動はサンプルに過ぎない

# 四大奉仕の採用

理事会

```
graph TD; A[理事会] --> B[クラブ奉仕委員会]; A --> C[職業奉仕委員会]; A --> D[社会奉仕委員会]; A --> E[国際奉仕委員会];
```

クラブ奉仕  
委員会

職業奉仕  
委員会

社会奉仕  
委員会

国際奉仕  
委員会

奉仕活動の実践に対応したクラブ管理

親睦と奉仕理念研鑽の場の喪失

# ロータリー第三の危機

1929年から1938年頃

## 政治・経済的問題

- 1929年 世界大恐慌による経済危機
- 1932年 政権交代による政治的危機
- ニューディール政策による経済政策変更  
金本位制廃止、公共事業の創出、企業活動と労使関係の制限
- 1937年夏 「恐慌の中の恐慌」
- 軍需産業の積極的育成

# ロータリー第三の危機

## 内部的問題

- 1930年 アーサー・シェルドンの退会による求心力の低下

モットー廃止問題

社会奉仕活動への移行

- 1932年 レギナルド・ハリス事件
- クラブ管理のずさんさ 出席規定の軽視
- シカゴ大学によるロータリーの現状分析  
Rotary ?の発行

# 四つのテスト



ハーバート・テラー

1954年 RI会長

1932年、倒産寸前の  
クラブ・アルミニュー  
ム社再建のために考  
え、実践したスローガ  
ン

1954年、その版權を  
RIに寄贈



# THE FOUR-WAY TEST

*of the things we think, say or do*

**1** Is it the Truth?

**2** Is it fair to all concerned?

build good will

friendships?

言行はこれに照らしてから

1. 真実かどうか？
2. みんなに公平か？
3. 好意と友情を深める
4. みんなのためになる

## モットウとする 奉仕を

皆様に次の事を實行なさる

様におすゝめします

- (一) 嘘を云はず真実であるように
- (二) 誰にも公正で不公平のないように
- (三) 人に對し好意と友情を増すように  
つとめ決して敵意と憎悪を招かないように
- (四) 全体の爲になるように働き誰人の  
不利にもならないように

門司ロータリー俱樂部

取引はこれに照らしてから

1. 嘘偽りがないか？
2. すべての取引先に対して公正か？
3. 信用を高め、よい人間関係を作るか？
4. すべての取引先に利益をもたらすか？

# ポール・ハリス晩年の公式活動

- 1926年 バミューダ・クラブ訪問
- 1927年 ラシーン・クラブ訪問
- 1928年 The Founder of Rotary 出版  
ヨーロッパ諸国訪問  
ウォーリングフォードクラブ訪問
- 1929年—31年 病気療養
- 1932年 イギリス・北欧諸国訪問
- 1934年 イギリス・南アフリカ諸国訪問  
This Rotarian Age 出版





飛行服を着たポール



# ポール・ハリスの日本訪問

- 1935年2月9日

横浜より東京へ。帝国ホテルで月桂樹を記念植樹。東京會館で晚餐会に出席。  
夜行列車で京都。

- 2月10日

京都市内観光の後大阪で歓迎昼食会。  
夜、神戸よりマニラへ



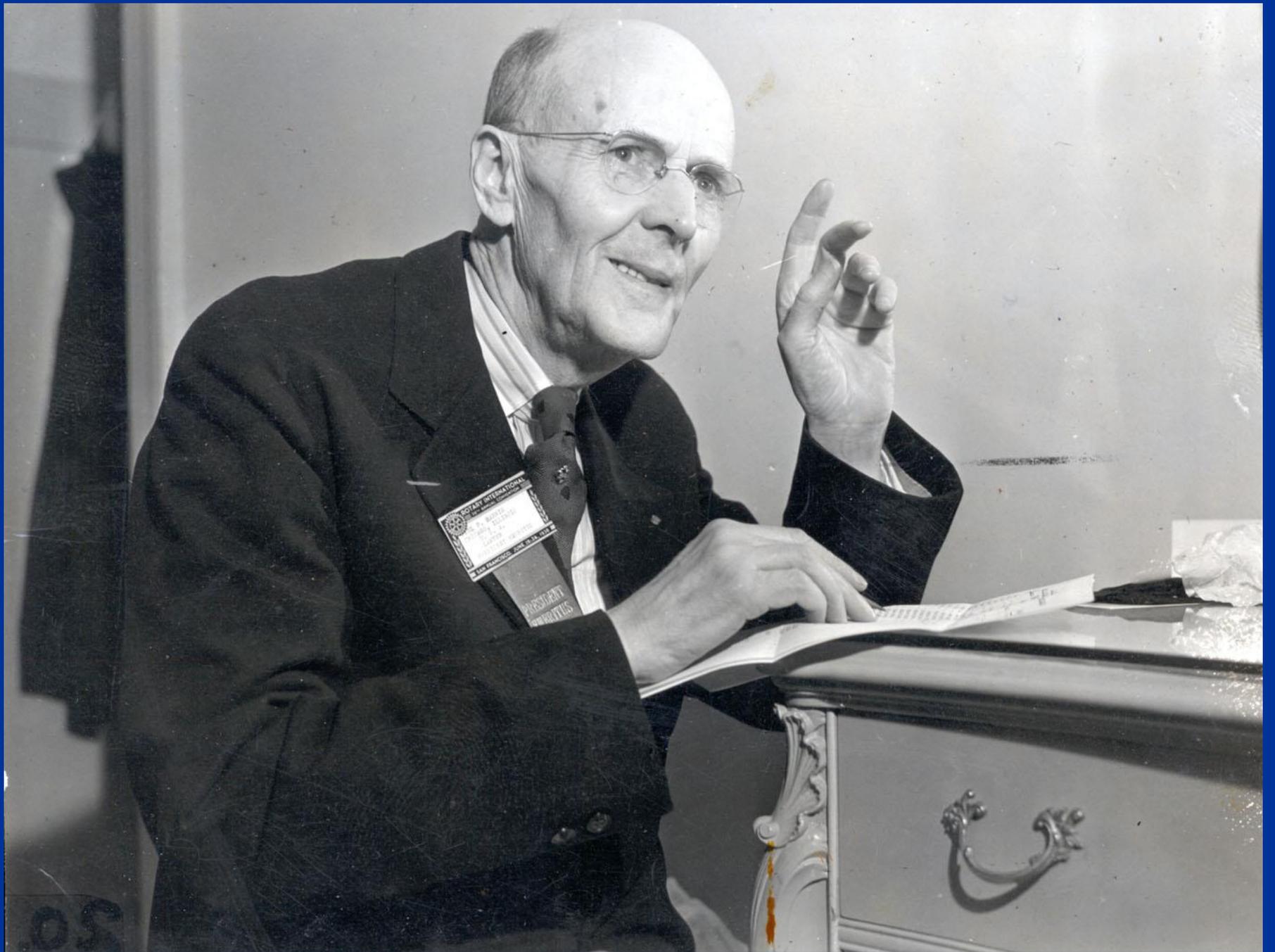
# 晩年のポール・ハリス

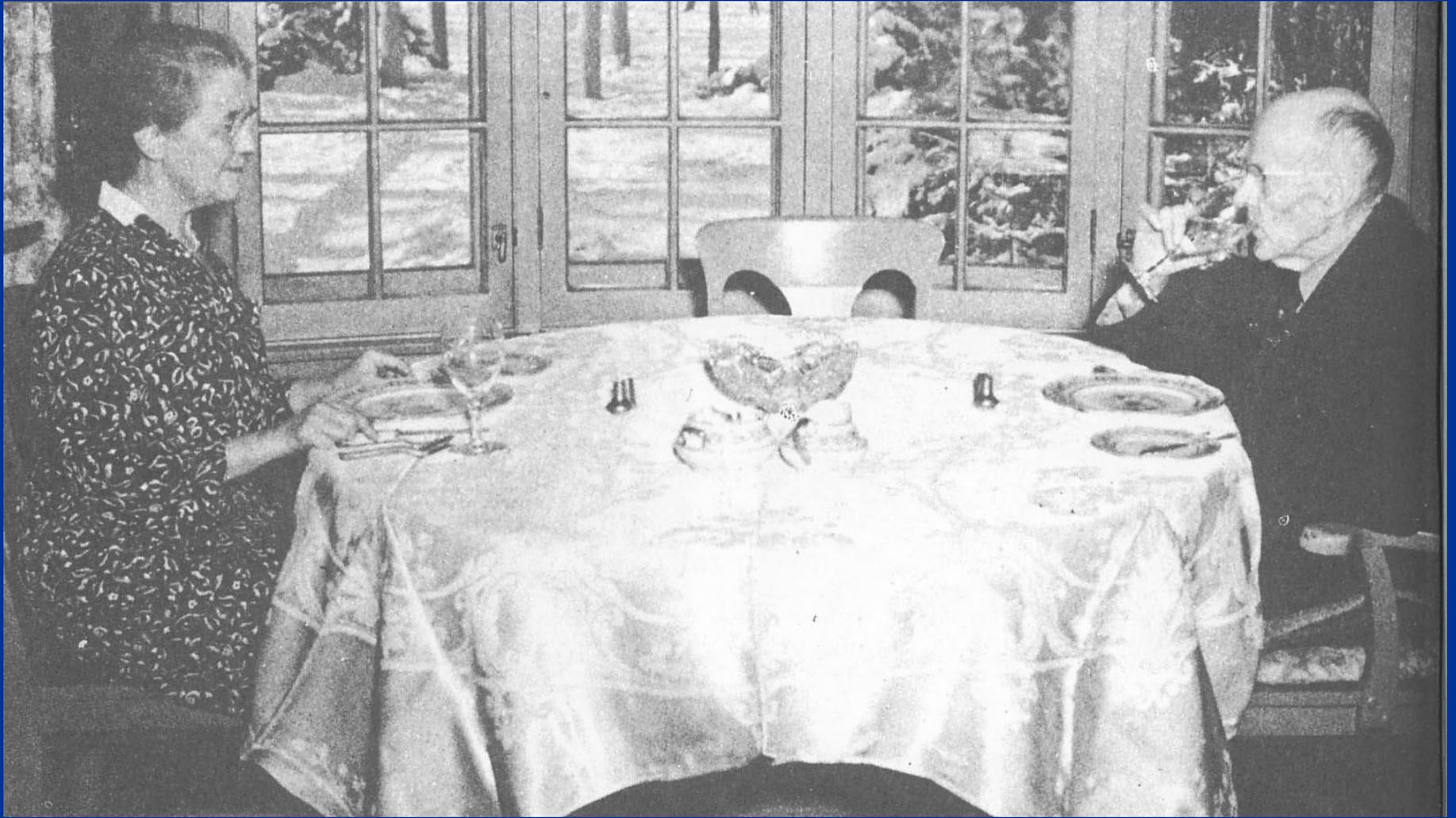
- 1935年 日本・アジア・南太平洋諸国訪問
- 1936年 南アメリカ諸国訪問  
バッファロー・クラブ訪問
- 1937年 スイス・フランス訪問  
イギリス周辺諸島訪問
- 1941年 ラシーン・クラブ訪問
- 1946年 My Road to Rotary 執筆



チェスレー・ペリーと  
終生変わらぬ友情で  
結ばれていた





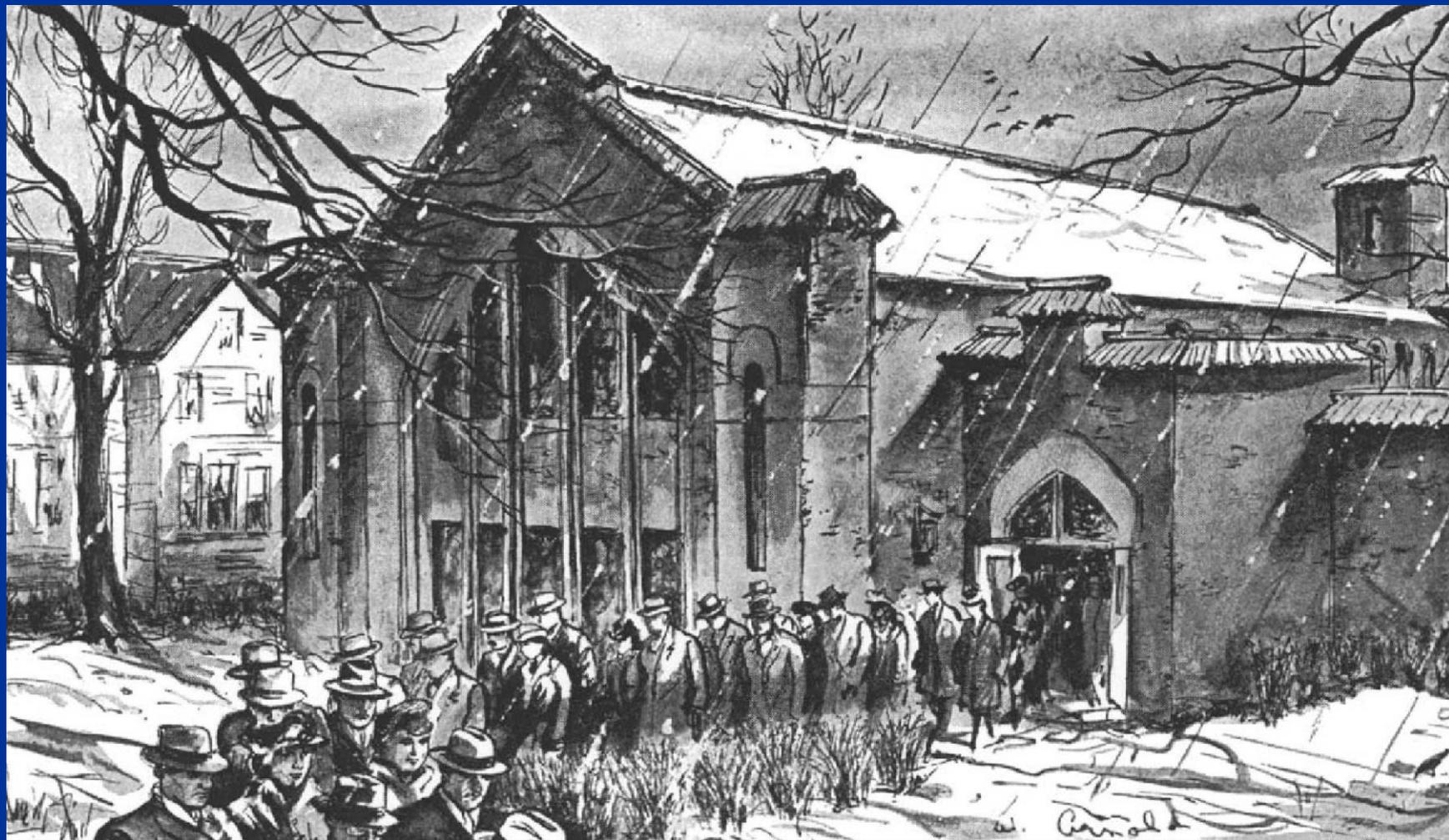


カムリー・バンクの窓辺にて



復元されたポール・ハリス執務室

# ポール・ハリスの逝去



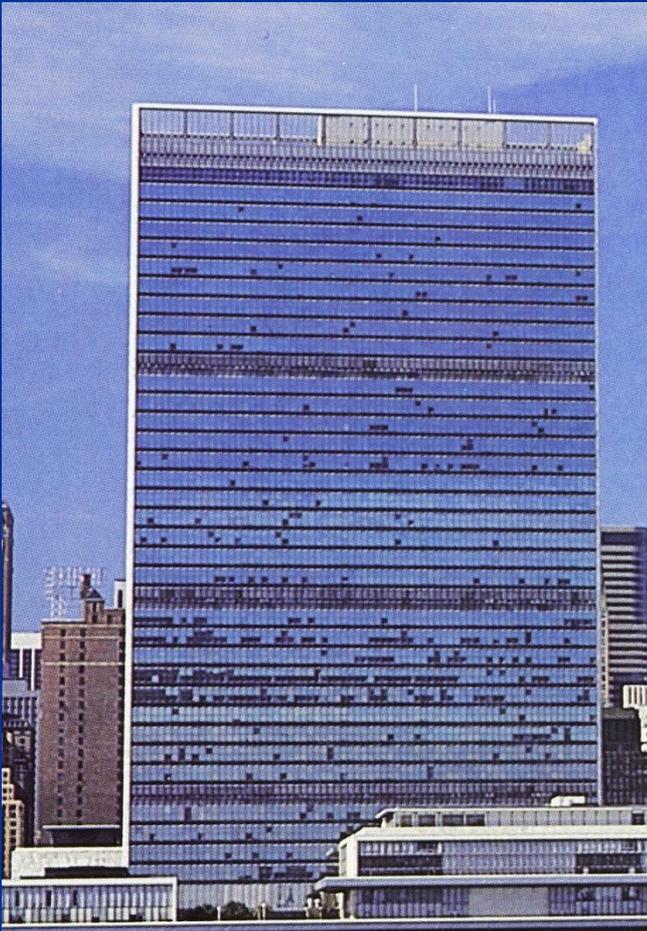
1947年1月27日 逝去 享年78歳



ポール・ハリスの碑 マウントホープ墓地

# 国連憲章の制定

国務省からの要請を受けて、国連憲章の原案作成に、RIから11名の顧問団が参画



- ・ 1945年 国際連合設立準備会
- ・ 世界各国代表団のうち、7名の委員長と20名の代表がロータリアン
- ・ 代議員を含めて49名のロータリアンが参画

# 奉仕こそわがつとめ



パーシー・ホジソン

1949年RI会長

RIのテーマを発表

「奉仕こそわがつとめ」

過去のロータリー運動  
の中で取上げられた職  
業奉仕の具体的な事  
例を豊富に盛り込んだ  
解説書

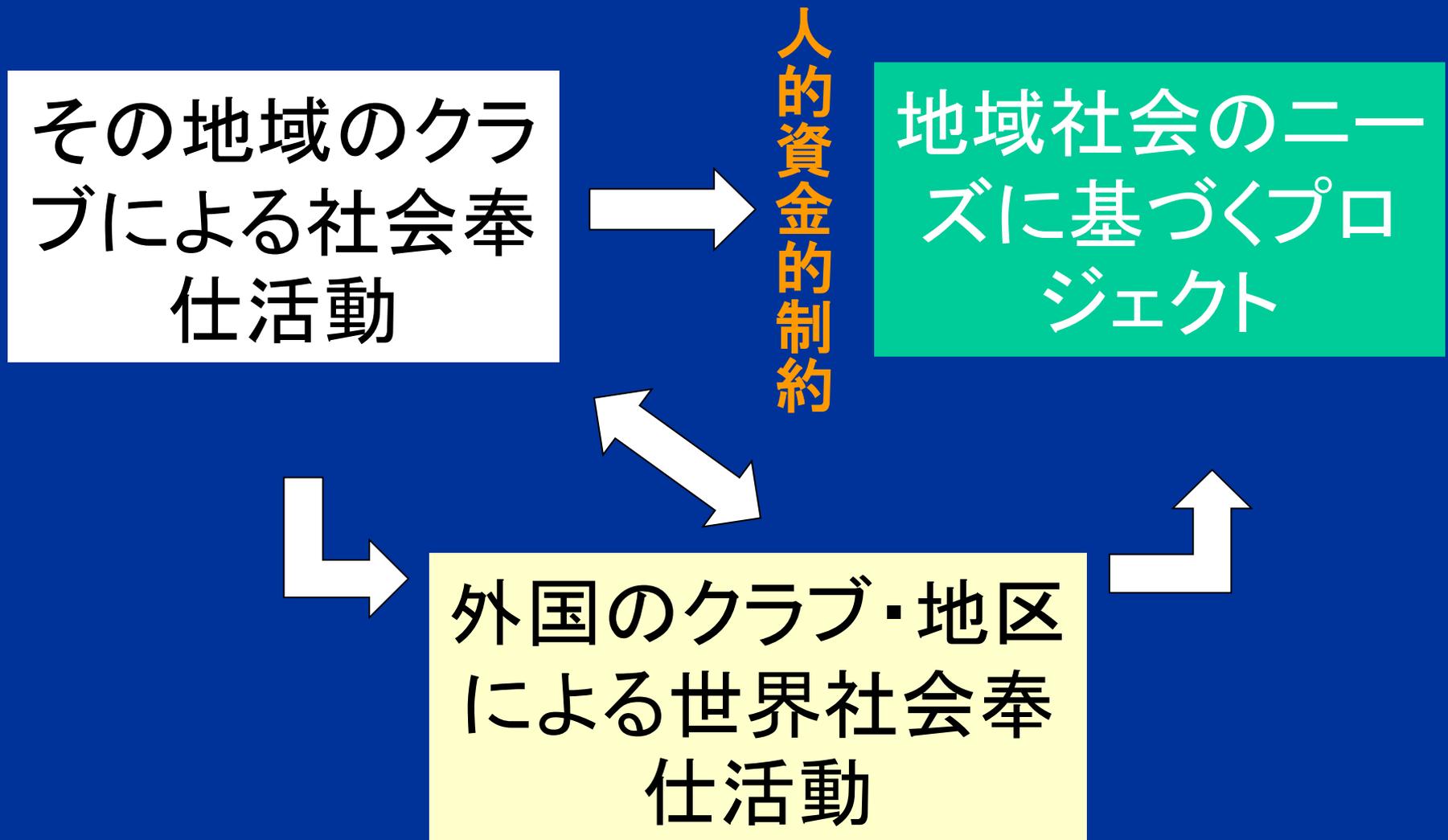
# 世界社会奉仕概念の発生

- 1962年 提唱
- 1966年 財政援助に関する制限条項の解除
- 1968年 具体的活動開始
- 国際奉仕活動の主流



ニッティシ・ラハリー

# 世界社会奉仕 WCS とは



# 戦後のロータリーの流れ

- 1962年～  
世界社会奉仕(WCS)プログラム発足
- 1978年～  
3-Hプログラム開始
- 1985年～2005年  
ポリオ・プラスプログラム開始

人道主義に基づく  
国際ボランティア活動への転換

# 職業奉仕理念の衰退

- 1931年 道徳律の頒布禁止
- 1948年 RI職業奉仕委員会廃止
- 1951年 道徳律の廃止
- 1980年 RI細則より道徳律の文字削除
- 1987年 「職業奉仕に関する声明」発表
- 1989年 He profits most who serves best  
の順位格下げ 第二モットーとなる

# 職業奉仕理念の衰退

2001年6月RI理事会

He profits most who serves best の使用停止

2001年11月RI理事会

日本のロータリアンの強い要望によって、このモットーの使用停止を撤回

2004年規定審議会

They profit most who serve best に変更

# 社会奉仕活動の考え方の変化

- 社会奉仕活動の実践範囲  
家庭、職場、クラブ区域限界内の地域社会
- Territory から Locality へ  
奉仕活動実践範囲が周辺地域に拡大
- ボーダーレス社会の到来による Community の概念変化

地域社会  国  地球

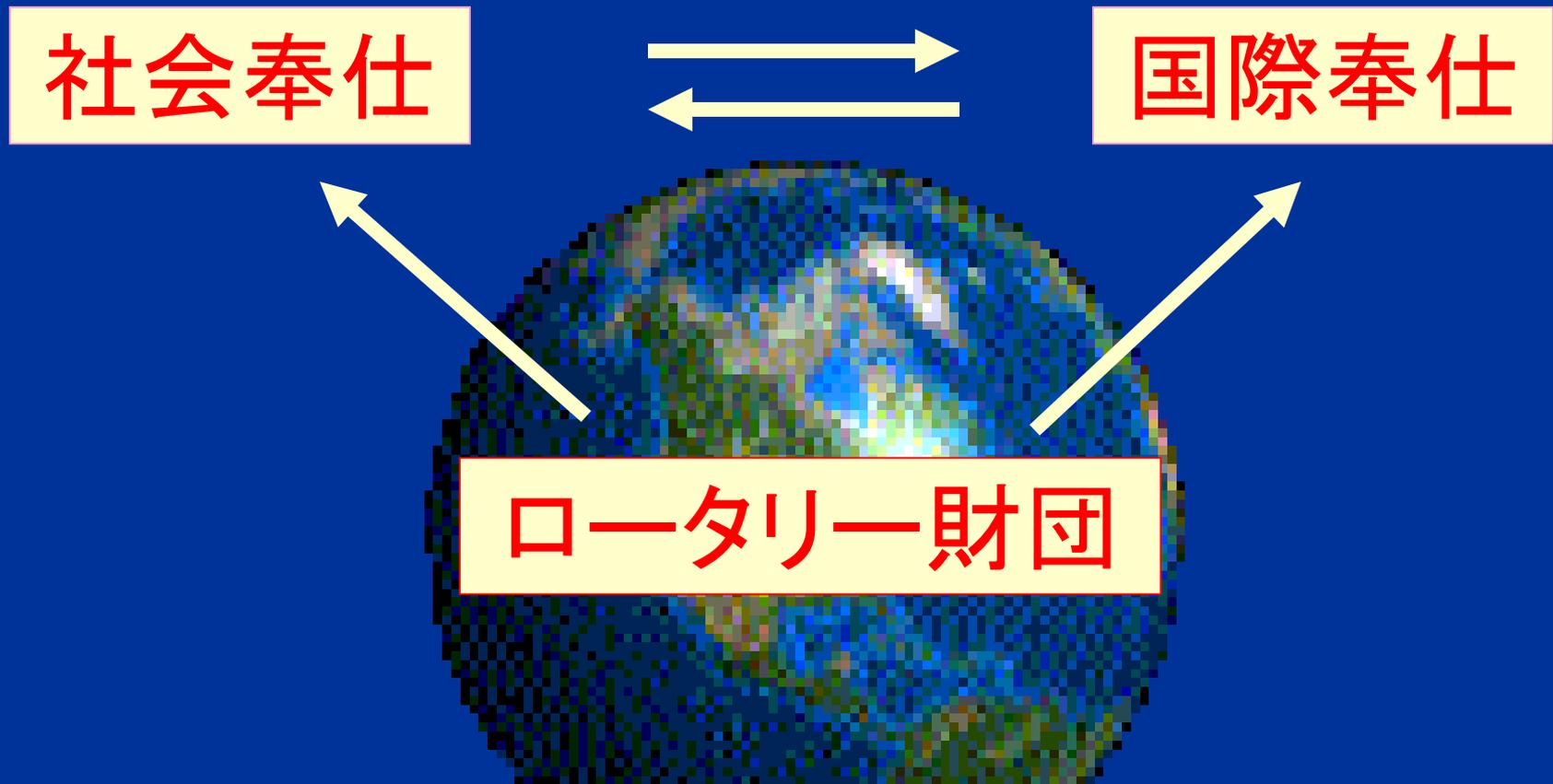
# 社会奉仕活動実践の原則

- 私たちが地域社会のニーズを推測するのではなく、地域社会の人たちが必要だと感じるものを見つける
- 自らが地域社会に入り込んで、地域社会の関心を探る  
元RI会長 クリフ・ドクターマン
- 地域社会の既存団体に寄付するのではなく、自分たちの力で、プロジェクトを完成すべき  
元RI会長 グレン・キンロス

# 社会奉仕活動の新しい流れ

- 識字率の向上
- 水資源確保
- 飢餓・貧困対策
- 環境保全
- 新世代対策
- 薬物乱用・アルコール過飲防止
- 平和な都市づくり
- 高齢者対策
- 身体障害者対策
- エイズ教育

# 今後のロータリーの奉仕活動



人道主義に基づくボランティア活動  
への積極的参加

# 参考資料

- Golden Strand
- This Rotarian Age
- My Road to Rotary
- 1<sup>st</sup> National Convention
- 2<sup>nd</sup> National Convention
- Golden Wheel
- Proceeding Rotary Convention  
1910-1915 1921,1923,1927
- Rotary Fifty years of Service
- The National Rotarians 1-2
- The Rotarians 1-7
- The Founder of Rotary
- The meaning of Rotary
- Rotary ?
- The First Rotarians
- Rotary Philosophy
- A talking knowledge of  
Rotarians
- The story of Minneapolis  
Rotarians
- National Handbook of Rotary  
Club of America
- 写真提供 RI本部資料室、  
上記文献、塚原房樹、亀井  
敏清、黒田正宏



ロータリー研修シリーズ

ロータリー歴史探訪

製作 2680地区 PDG 田中 毅